

平成 24 年度テクノフェスタでの国際標準化講演会報告

平成 25 年 1 月 29 日、メルパルク東京 瑞雲の間において下記2件の講演会を実施しました。

(1) ISO/TC206(ファインセラミックス)と光触媒標準化の状況(13:30-15:00)

- ①ISO/TC206の国際標準化の状況 (独)産業技術総合研究所 阪口 修司
- ②光触媒国際標準化の進捗状況と海外の動き (独)産業技術総合研究所 佐野 泰三
- ③アセトアルデヒドによる可視光応答型光触媒の完全分解試験方法
財団法人 神奈川科学技術アカデミー 村上 武利
- ④光触媒工業会における標準化活動と製品認証制度について
光触媒工業会 木村 太門

(2) ISO/TC150(外科用インプラント)とバイオセラミックスの国際標準化の状況(15:30-17:00)

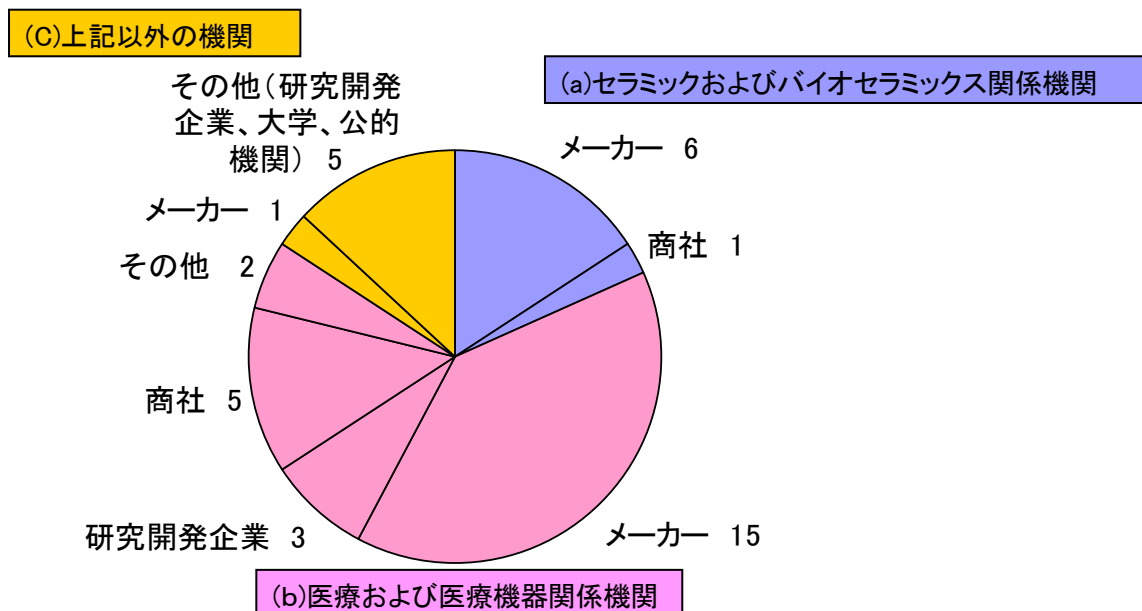
- ①企業活動としての国際標準化 内閣府 政策統括官(経済財政運営担当)付
(元・経済産業省 生物化学産業課) 門川 員浩
- ②ISO/TC150(外科用インプラント)全体/SC1/SC4/SC5/SC7の国際標準化の状況
日本大学 堤 定美
- ③ISO/TC150(外科用インプラント)SC2/SC6の国際標準化の状況
日本医療器材工業会 井越 忠彰
- ④バイオセラミックスの細胞侵入性評価方法の標準化 東京大学 牛田多加志

両講演会とも、約60名が参加登録し、標準化の具体的な内容について質疑が行われました。

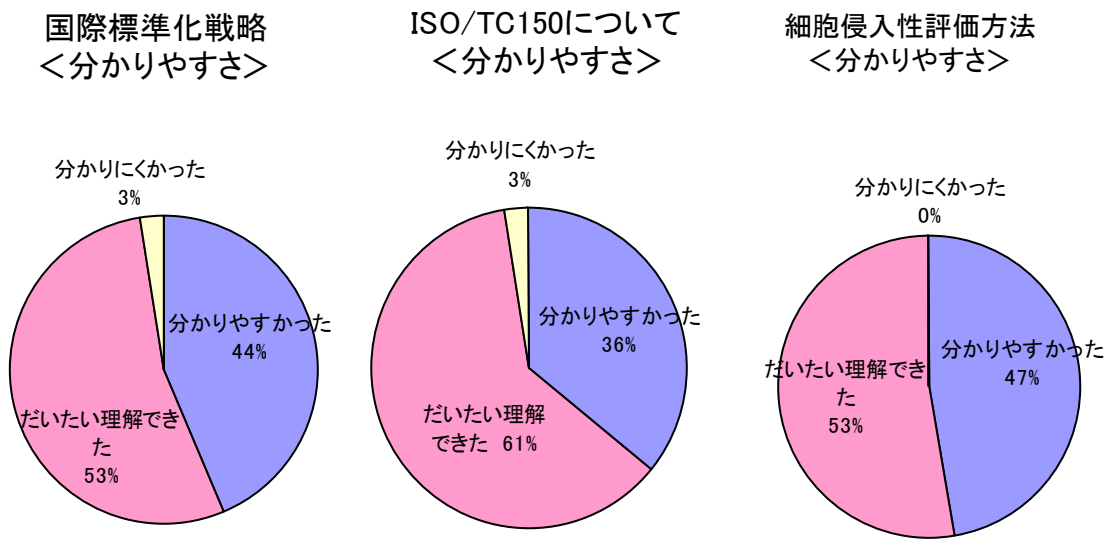


「ISO/TC150(外科用インプラント)とバイオセラミックスの国際標準化の状況」については今回が第一回の講演会であるので、次回以降の講演の参考とするため、アンケートを実施しました。アンケートに回答のあった参加者の意見は次のとおりでした。

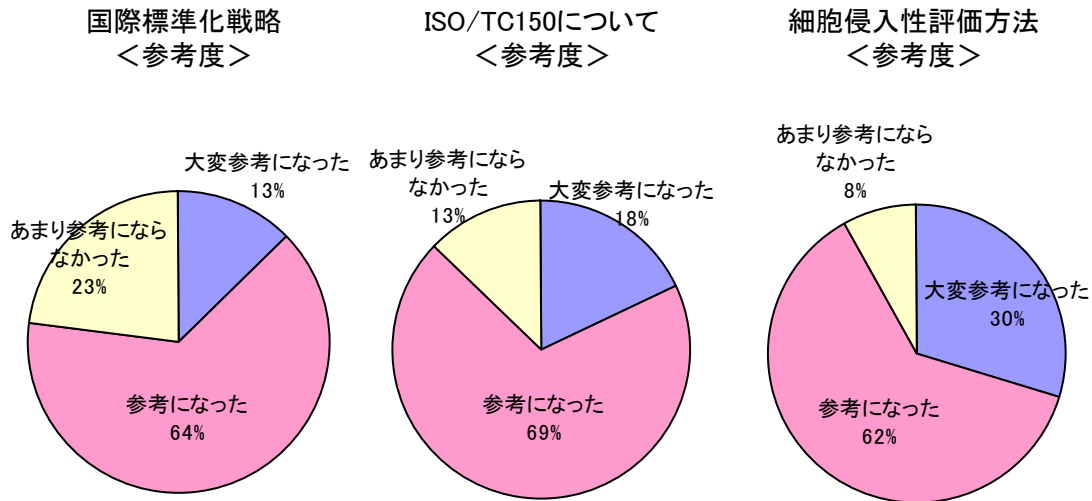
(1) アンケート回答者の所属機関



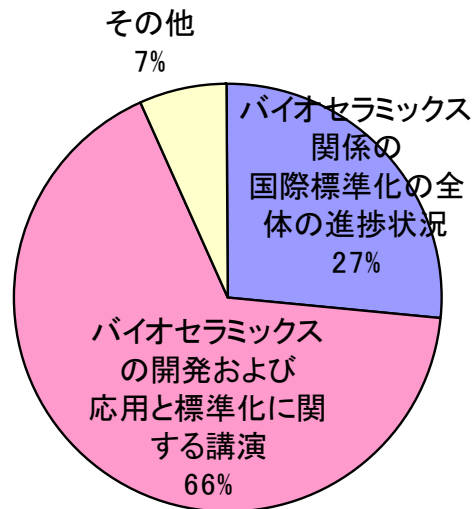
(2)a 講演内容はわかりやすかったですか？



(2)b 講演内容は参考になりましたか？



(4) 来年の本講演では、どのような講演を希望しますか？



来年以降の講演では、

- ・ バイオセラミックスの開発および応用と標準化に関する講演のほか
- ・ 薬事申請にかかわる講演
- ・ 人工関節・人工骨に関する標準化
- ・ セラミックス・メタルの安全性
- ・ 再生医療の標準化の現状と将来の展望

等が期待されていることから、JFCAの事業で開発した標準化の内容を中心に、参加者に興味ある講演を提供していきたいと考えています。